



輛の浦学園だより

No.20
2023年(令和5年)2月21日



教育は、将来への展望、生きる意欲を育むもの!

～「自分を見つめ、自分を探し、自分をつくる」ことは未来をつくること～

2月も残すところ一週間、少しずつ日が長くなっています。本年度やってきたことを振り返りながら、次年度も考えてやっていることを少し紹介します。昨年4月、最初の職員会議では、学園で大切にしていきたい次のことを確認しました。

- 教育は、将来への展望、生きる意欲を育むもの!
- 1 授業になかなかついていけない児童生徒に、授業で一つでも「わかった」、「できた」という経験を持たせる、そのことが自己肯定感を育む。
- 2 悩み苦しんでいる児童生徒が、授業で一つでも「思いやり、優しさ」を感じる協働の学びを経験させる、そのことが元気、やる気を育む。
- 3 友達が失敗したり間違ったりしても、決して笑ったり、馬鹿にしたりしない人間を育てる、そのことが安心して過ごせる社会・未来を創る。

2月、子ども達に年間3回実施するアンケート調査(3回目)を実施しました。その結果をいくつかお伝えします。

- 「学校での学びはよく分かる」91.9%
- 「分からないことを分からないと言える」91.4%
- 「学級は、安心して学べる場である」91.0%
- 「コミュニケーション能力が身に付いている」92.5%
- 「夢や将来について考えたことがありますか」89.9%・・・

こうしたアンケート結果も踏まえて、現在、経営計画である「学校評価自己評価表」を検討しています。この評価表には、学園が取り組む内容を示しており、学園教育の羅針盤です。検討をしながら、次年度の取組も考えています。ホームページにはこれまでの取組を掲載しており、是非、ご覧ください。

後期課程の中には、夢や目標がない子ども達もいます。ひょっとしたら社会がよく見えてきたのか、自分に自信がないのか。「自分を見つめ、自分を探し、自分をつくる」ことは未来をつくることにつながります。

どちらにしても、学校でも家庭・地域でも、安心して学べることはすべての基盤です。失敗や挫折等も貴重な経験で、すべては自らの財産であり成長の源(みなもと)です。互いに傷つけ、傷つけられ、そして許し、許される場所、そういった場も貴重な居場所、学びの場になるのかもしれない。

授業参観、多数のご参加ありがとうございました!

15日に授業参観・学級懇談会がありました。「コロナ・インフル」の広がりを最小限に食い止めつつ、3学期を過ごしております。学級懇談会では、新しい学年・学級委員さんが決定しました。来年度どうぞよろしくお願いいたします。また、今年度のPTA活動を推進してくださった本部役員・学年学級委員さん、大変お世話になりました!



二年生英語はジョン先生に
バスデーカード贈呈!



つくし六年生は手作り石鹸
の作り方を親に解説中!



八年生美術は頭を寄せて
「バラスデー」デザイン作成



六年生国語は「将来の夢」の
発表会。ああく緊張した!

授業参観の様子

1～3年生が伝統文化体験に挑戦しました!



華道



座禅



茶道

「福山学校元気大賞」受賞!

読み聞かせボランティアの皆さん 長年の活動を評価!



本に親しむ子ども達に育って欲しいと、18年間、「つむぎ会」の皆さんが毎週月曜日に読み聞かせ活動を続けてきました。この度、「地域一丸」部門にて教育長から表彰を受けました!

TOPICS!

輛町内の広島銀行さんの掲示板で「ともに新聞」が掲示されています!お立ち寄りの際は是非ご覧ください!

